# 令和６年度　　年　間　授　業　計　画

東京都立富士高等学校附属中学校

| 教科名 | 特別の教科　道徳 | 対象学年 | １年 | 週時間 | １時間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「中学生の道徳 自分を見つめる１」（あかつき教育図書）<br>「中学生の道徳ノート　自分を見つめる１」（あかつき教育図書） | 教科担当 | 粕谷 和宏、福本 あゆみ<br>渡部 啓太、中島 由香里 | | |
| 副教材 | 「心みつめて」（東京都教育委員会） | | | | |

## 授　業　計　画

**授業の目標**

○中学生としての自覚をもたせ、思いやりや敬愛の気持ち、礼儀を重んずる心を育て、望ましい生活習慣の確立を図る。
○集団の意義について理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。

**主な学習内容と授業時数**

| 学期 | 月 | 単　元 | 学　習　内　容 | 配当時間 | 具体的な指導目標 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 4 | 1 この人生の主人公<br>2 目標は小刻みに<br>3 裏庭でのできごと | A-1 自主、自律、自由と責任<br>A-4 希望と勇気、克己と強い意志<br>A-1 自主、自律、自由と責任 | 3 | ・「この人生の主人公」の詩から自分の人生を主体的に生きることについて考えることを通して、自立心や自律性の大切さに気付き、自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行していこうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・小さな目標を設定し、それらを達成していくことで完走することができた「私」の心の動きについて考えることを通して、目標の達成が希望や勇気を生み出すことに気付き、目標に向かって困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げようとする道徳的実践意欲を培う。<br>・葛藤を乗り越えて真実を告白することを決断した健二への共感的な理解を通して、自律的な行動と責任の大切さに気付き、自律的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつ道徳的判断力を高める。 |
| | 5 | 4 あなたの「生きようとする力」<br>5 いつわりのバイオリン<br>6 アイツ<br>7 半分おとな　半分　こども | D-19 生命の尊さ<br>D-22 よりよく生きる喜び<br>B-8 友情、信頼<br>B-7 礼儀 | 4 | ・赤ちゃんの誕生における人体の営みを知り、生命が生きることの意味について考えることを通して、かけがえのない自他の生命を尊重する道徳的実践意欲を培う。<br>・ロビンからの手紙に涙をこぼすフランクの心情について考えることを通して、誰もがもっている人間らしいよさを認め、弱さに負けず自分に恥じない生き方を見出そうとする道徳的心情を育む。<br>・真一と夏樹が仲違いしてから仲直りするまでの心の動きを共感的に理解し、これからの二人のよりよい関係について考えることを通して、異性間においても互いに相手を理解し、よさを認め合うことの大切さに気付き、心から信頼し合える人間関係を築いていこうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・「礼儀知らず」の人について考えることを通して、心と形が一体となった礼儀の意義に気付き、時と場に応じて適切な言動をとろうとする道徳的実践意欲を培う。 |
| | 6 | 8 釣り竿の思い出<br>9 ヨシト<br>10 あのハチドリのように　－ワンガリ・マータイ－<br>11 木箱の中の鉛筆たち | A-2 節度・節制<br>C-11 公正、公平、社会正義<br>D-20 自然愛護<br>A-3 向上心、個性の伸長 | 4 | ・釣りに夢中になるあまり門限を破ってしまい、母に釣りざおを折られた「私」の心の動きについて考えることを通して、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をしようとする道徳的実践意欲を培う。<br>・同調圧力を乗り越えて、ヨシトへのいじめに毅然と立ち向かおうとするアツシの思いについて考えることを通して、正義と公正さを重んじ、いじめのない社会の実現に努める道徳的態度を養う。<br>・破壊された故郷の自然を目にして立ち尽くすマータイさんの心情と決意について考えることを通して、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努める道徳的実践意欲を培う。<br>・落ち込んでいた筆者が、父の話とちびた鉛筆が詰まった木箱から感じ取ったことについて考えることを通して、自己の向上を図り、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする道徳的実践意欲を培う。 |
| | 7 | 12 アップルロード作戦<br>13 曙号の死<br>14 島耕作　ある朝の出来事 | C-16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度<br>D-19 生命の尊さ<br>C-10 遵法精神、公徳心 | 3 | ・多くの困難に立ち向かいながらりんご並木をつくり、受け継いでいく飯田東中学校の生徒たちの思いについて考えることを通して、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員として進んで郷土の発展に努める道徳的実践意欲を培う。<br>・事故に見舞われた曙号を見守り、最期のひと時をともに過ごす「僕」の心の動きについて考えることを通して、生命の有限性を理解し、命あるものをいとおしみ、かけがえのない生命を尊重する道徳的心情を育む。<br>・朝の満員電車で起きた出来事について、様々な登場人物の視点から考えることを通して、公共の場において互いに配慮し合い、尊重し合うことの大切さに気付き、社会生活の中で守るべき公徳を重んじ、住みよい社会をつくっていこうとする道徳的実践意欲を培う。 |
| | 8 | | | | |
| 2学期 | 9 | 15 音を宿す<br>16 夜のくだもの屋 | C-17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度<br>B-6 思いやり、感謝 | 2 | ・どれだけ太鼓の形が変わっても、変わることのないものがあることに気付いた三浦彌市さんの太鼓作りについて考えることを通して、優れた伝統と文化を育んできた先人たちの努力と精神に気付き、我が国の伝統と文化を尊重し、継承、発展させていこうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・くだもの屋のあかりに込められたおじさん、おばさんの善意を知った少女の心情を共感的に理解することを通して、相手を思いやり、助け合う心のよさに気付き、思いやりと感謝の念をもって他者と接し、人間愛の精神を深めていく道徳的心情を育む。 |
| | 10 | 17 加山さんの願い<br>18 ミスター・ヌードル　－安藤百福－<br>19 美しい母の顔<br>20 人に迷惑をかけなければいいのか？ | C-12 社会参画、公共の精神<br>A-5 真理の探究、創造<br>C-14 家族愛、家庭生活の充実<br>C-10 遵法精神、公徳心 | 4 | ・雨の中で傘を持ったまま考え続ける加山さんが気付いたことについて考えることを通して、互いに助け合い励まし合う社会連帯の大切さに気付き、社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。<br>・誰もが考えもしなかったアイデアを生み出し、それを創り上げた安藤百福さんの生き方について考えることを通して、想像力を働かせ、好奇心・探究心をもって探究することの大切さに気付き、真理を探究して新しいものを生み出そうと努める道徳的実践意欲を培う。<br>・嫌っていた母のやけどの跡ができた理由を知って、涙を流す「私」の心情を共感的に理解することを通して、深い愛情をもって育ててくれた家族に感謝し、敬愛の念をもつ道徳的心情を育む。<br>・駐車場の出来事を経て反省する「僕」の考えの変化について考えることを通して、法やきまりが自他の生活や権利を守るためにあることに気付き、法やきまりを進んで守り、規律ある社会の実現に努める道徳的判断力を高める。 |
| | 11 | 21 地下鉄で<br>22 吾一と京造<br>23 国際協力ってどういうこと？<br>24 ネット将棋 | B-6 思いやり、感謝<br>B-8 友情、信頼<br>C-18 国際理解、国際貢献<br>A-1 自主、自律、自由と責任 | 4 | ・筆者が感じた「少女たちの中にある美しさ」について考えることを通して、他者を思いやって、親切にしたり、いたわったりすることのよさに気付き、思いやりの心や温かい人間愛を大切にする道徳的心情を育む。<br>・教室の前で立たされている京造の姿を見て心が揺れる吾一の葛藤について考えることを通して、互いを支え合い、励まし合う友情の大切さに気付き、心から信頼できる友達関係を築こうとする道徳的態度を養う。<br>・二つの作文のエピソードに対する自己の判断やその理由について考えることを通して、国際的視野に立って他国を理解することの大切さに気付き、日本人としての自覚をもって国際理解、国際貢献に努める道徳的実践意欲を培う。<br>・敏和、明子、智子の話を聞いて、「僕」が気付いたことについて考えることを通して、誠実に自己の責任を受け止めることの大切さに気付き、自律の精神を重んじ、誠実に実行してその結果に責任をもつ道徳的判断力を高める。 |
| | 12 | 25 ある日のバッターボックス<br>26 銀色のシャープペンシル<br>27 午前一時四十分 | C-11 公正、公平、社会正義<br>D-22 よりよく生きる喜び<br>C-13 勤労 | 3 | ・生き生きとソフトボールをする0さんと子供たちの姿に触れた筆者の心情について考えることを通して、誰に対しても公平であることのよさや大切さに気付き、差別や偏見をなくし、誰もが生き生きとできる社会の実現に努める道徳的態度を養う。<br>・本当のことを言い出すことができず葛藤する「僕」の心の動きについて考えることを通して、自己の弱さや醜さと向き合い、それらに打ち勝つ良心の声を自覚して、よりよく生きる喜びを見出そうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・家族に止められても新聞配達を続ける母が働く理由について考えることを通して、勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通して生きがいのある人生を実現しようとする道徳的実践意欲を培う。 |
| 3学期 | 1 | 28 語りかける目<br>29 旗<br>30 終わりなき挑戦　－成田　真由美－ | D-19 生命の尊さ<br>B-6 思いやり、感謝<br>A-4 希望と勇気、克己と強い意志 | 3 | ・母の遺骨を「ナベ」に入れ、語りかける少女の目に宿る思いについて考えることを通して、限りある生命のかけがえのなさを理解し、自他の生命を尊重しようとする道徳的態度を養う。<br>・バッチワークのクラス旗を掲げて少女を励ましそうとするクラスメートの思いを共感的に理解することを通して、思いやりの心をもって人と接し、絆を深めていこうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・大きな困難を乗り越えて挑戦を続けようとする成田真由美さんの強い意志について考えることを通して、希望と勇気をもって生きることの大切さに気付き、より高い目標に向かって、困難や失敗を乗り越え、着実にやり遂げようとする道徳的実践意欲を培う。 |
| | 2 | 31 よみがえった良心<br>32 ふたりの子供たちへ<br>33 言葉の向こうに | D-22 よりよく生きる喜び<br>A-1 自主、自律、自由と責任<br>B-9 相互理解、寛容 | 3 | ・すべてを捨てることになってもアガサを助けることを選んだジミーの思いについて考えることを通して、人間には気高く生きようとする心があることを理解し、人間としての誇りある生き方を見出そうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・「私」が「ふたりの子供たちへ」の手紙に込めた思いについて考えることを通して、家族が互いに愛情をもって支え合うことの大切さに気付き、家族への敬愛を深め、家庭の一員として充実した家庭生活を築こうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・自分のコミュニケーションの在り方を振り返る加奈子の気付いたことについて考えることを通して、人それぞれにいろいろなものの見方・考え方があることを理解し、寛容の心をもって他者と接していく道徳的判断力を高める。 |
| | 3 | 34 ガジュマルの木<br>35 二枚の写真 | D-21 感動、畏敬の念<br>C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実 | 2 | ・遺跡を覆うガジュマルの木に衝撃を受けたコウヘイの心を共感的に理解することを通して、美しいものや気高いものに感動する心、人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ道徳的心情を育む。<br>・病室の浩に手を振る同級生たちの思いについて考えることを通して、人々の心が一体となった学校のよさに気付き、学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい学校生活をつくろうとする道徳的実践意欲を培う。 |

指導時間　　1学期：14時間、2学期：13時間、3学期：8時間、年間：35時間

**評価について**

・数値ではなく、記述によって評価する。
・他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として行う。
・生徒の道徳性そのものではなく、道徳性を養う学習活動に着目して、学びのプロセスを評価する。
・学習の一部分だけを見て判断するのではなく、一定期間の授業の中から生徒のよさを見いだして評価する。
・多角的・多面的な見方へ発展しているか、自分との関わりで深めているかといった点を重視して評価する。

# 令和６年度　　年　間　授　業　計　画

東京都立富士高等学校附属中学校

| 教科名 | 特別の教科　道徳 | 対象学年 | ２年 | 週時間 | １時間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「中学生の道徳 自分を考える２」（あかつき教育図書）<br>「中学生の道徳ノート　自分を考える２」（あかつき教育図書） | 教科担当 | 宮本 英司、伊藤景一郎<br>伊東 森、川﨑 美幸 | | |
| 副教材 | 「キラリノート」（正進社）　「心みつめて」（東京都教育委員会） | | | | |

## 授　業　計　画

**授業の目標**

○道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え生き方についての考えを深める。
○道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
○自主的に物事に取り組み、他の人々の個性や立場を尊重し、協力し合って集団生活の向上に努めようとする態度を育てる。
○学級や学校を愛し、自分の役割を果たして、よりよい学校生活の実現に対する意欲を高める。

**主な学習内容と授業時数**

| 学期 | 月 | 単　元 | 学　習　内　容 | 配当時間 | 具体的な指導目標 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 4 | ・虎<br>・いつでも・どこでも・誰とでも<br>・ジョイス | A-3　向上心、個性の伸長<br>B-7　礼儀<br>A-1　自主、自律、自由と責任 | 3 | ・虎の一役にかけた八輔の心の変化と、舞台後の涙のわけについて考えることを通して、自分らしさを発揮することのよさに気付き、個性を伸ばして充実した生き方を追求していこうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・レストランでの出来事における「私」の問題とその解決について考えることを通して、礼儀の根底にある人間尊重の精神の大切さに気付き、時と場に応じた適切な言動で、他者を思いやる心を伝えていこうとする道徳的判断力を高める。<br>・誤審の翌日も審判を務めようとするジョイスに対する、ガララーガやタイガースの監督の心情を共感的に理解することを通して、誠実な生き方のよさに気付き、自律的な行為の結果に責任をもち、人間としての誇りを大切にする道徳的心情を育む。 |
| | 5 | ・樹齢七千年の杉<br>・ガストロカメラ | D-20　自然愛護<br>A-5　真理の探究、創造 | 2 | ・縄文杉を前にして心動かされる筆者の思いを共感的に理解することを通して、人間の力を超えた自然の雄大さや悠久さに気付き、畏敬の念をもって自然を愛する道徳的心情を育む。<br>・多くの困難と失敗を乗り越えて、胃カメラという未知のアイデアを実現させた杉浦睦夫、宇治達郎らを支えていた思いについて考えることを通して、真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出していこうとする道徳的実践意欲を培う。 |
| | 6 | ・野生の猛禽を守るために<br>・これは駄目？　これも駄目？<br>・燃え盛る炎<br>・君、想像したことある？<br>・「キング」と呼ばれる理由 ― 三浦 知良 ―| B-9　相互理解、寛容<br>A-2　節度、節制<br>D-19　生命の尊さ<br>C-11　公正、公平、社会正義<br>A-4　希望と勇気、克己と強い意志 | 5 | ・一人のハンターとの出会いから、筆者が気付いたことについて考えることを通して、相互理解を図ることの大切さに気付き、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、他者のものの見方や考え方から学んでいこうとする道徳的態度を養う。<br>・節度や節制に関わる具体的な例について、自分の判断の基準を見つめ、話し合うことを通して、節度を守り、節制に心がけて、心身ともに健康で安全な生活を送ろうとする道徳的判断力を高める。<br>・難病に向き合い生き抜いた石川正一君の姿から、人が「生きる」ということについて考えることを通して、かけがえのない生命を尊び、限りある人生を懸命に生きていこうとする道徳的態度を養う。<br>・いじめの卑劣さを訴える春名風花さんの主張を共感的に理解することを通して、いじめをする人間の醜さに気付き、自分の弱さに打ち勝って、差別や偏見、いじめのない社会の実現に努める道徳的態度を養う。<br>・ワールドカップ出場を目指し、その夢が破れてもなおサッカーを続ける三浦知良選手の生き方について考えることを通して、高い目標に挑戦していくことの素晴らしさに気付き、困難や失敗に直面しても、希望や勇気を失わずに努力を続けていこうとする道徳的実践意欲を培う。 |
| | 7 | ・ありガトオヨ<br>・相馬野馬追の季節<br>・明かりの下の燭台 | B-6　思いやり、感謝<br>C-16　郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度<br>C-15　よりよい学校生活、集団生活の充実 | 3 | ・加藤だいさん、橋本公男さん夫妻、加藤はつ江さんの心の交流から、感謝の心のよさや大切さについて考えることを通して、人間愛の精神を深め、人と人との支え合いを可能にする思いやりや感謝の心を大切にする道徳的心情を育む。<br>・東日本大震災で大きな被害を受けながら、葛藤を乗り越えて相馬野馬追を開催した相双地方の人々の思いについて考えることを通して、郷土に受け継がれた伝統文化のよさや大切さに気付き、地域社会の一員として郷土の伝統と文化を大切にしていこうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・チームの勝利のために献身し、マネージャーに徹した鈴木恵美子さんの生き方について考えることを通して、集団における自分の役割と責任を自覚し、集団生活の充実に努めていこうとする道徳的実践意欲を培う。 |
| 2学期 | 8 | | | | |
| | 9 | ・仏の銀蔵<br>・嵐のあとに<br>・小さなこと | C-10 遵法精神、公徳心<br>B-8 友情、信頼<br>A-1 自主、自律、自由と責任 | 3 | ・「お天道様が見てござる」と借金を返そうとする人々の姿から、銀蔵が気付いたことについて考えることを通して、社会の規律を守ろうとする規範意識の大切さに気付き、自他の権利を大切にし、義務を果たしていこうとする道徳的判断力を高める。<br>・嵐の漁を経て、明夫とがっちりと手を握り合う勇太の心の変化について考えることを通して、心から信頼し合うことの大切さに気付き、相互に変わらない信頼と相手に対する敬愛の念に基づく真の友情を育んでいこうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・小さい自分のしつけを続けている筆者の生き方について考えることを通して、自らを律して誠実に実行していくことのよ |
| | 10 | ・ネパールのビール<br>・加奈子の職場体験<br>・尊い玉子<br>・人間であることの美しさ | D-22 よりよく生きる喜び<br>C-13 勤労<br>C-14 家族愛、家庭生活の充実<br>D-21 感動、畏敬の念 | 4 | ・チェトリが帰ってくるまでの筆者の心の動きを共感的に理解することを通して、人を信じ切ることのできない弱さとそれを乗り越えたいと願う気高さに気付き、人間としての誇りや深い人間愛を大切にして、生きる喜びを見出していこうとする道徳的心情を育む。<br>・カットを進める安田さんの背中を見つめる加奈子の思いについて考えることを通して、働くことの厳しさや仕事への誇りに気付き、勤労の尊さや意義を理解して、自分の将来の生き方を考えていこうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・「私」の話を聞いた家の主人の思いについて考えることを通して、家族の無私の愛情の尊さに気付き、自らの健やかな成長と幸福を願う家族への感謝と敬愛の念を深める道徳的心情を育む。<br>・アンデルセン選手の姿に「人間だけが表現しうる美しさ」を感じた筆者の心情について考えることを通して、人間の強さや気高さに感動する心に気付き、自らの感動を大切にする道徳的心情を育む。 |
| | 11 | ・傘の下<br>・お前のカワウソがさびしがっているぞ<br>・路上に散った正義感<br>・天使の舞い降りた朝 | C-10 遵法精神、公徳心<br>A-1 自主、自律、自由と責任<br>C-11 公正、公平、社会正義<br>D-19 生命の尊さ | 4 | ・自分の都合で他人の傘を持ち帰り、元に戻した「僕」の行為の問題について考えることを通して、公徳を重んじ、社会の規範を守ることの大切さに気付き、自他の権利を大切にし、義務を果たして規律ある社会の実現に努める道徳的態度を養う。<br>・父の言葉から筆者が気付いたことについて考えることを通して、責任ある行動の大切さに気付き、自主的によく考えて判断し、誠実に実行して、結果に責任をもつ道徳的判断力を高める。<br>・社説と投書の意見から、よりよい社会の在り方について考えることを通して、社会生活における正義の大切さに気付き、正義と公正さを重んじ、不正を憎み、不正な言動を断固として許さない社会の実現に努める道徳的態度を養う。<br>・母の最期のメッセージを受け止め、歌で生きていくと決めた「僕」の思いについて考えることを通して、「生きる」ということの多面性に気付き、限りある自分の人生を懸命に生きていこうとする道徳的実践意欲を培う。 |
| | 12 | ・タッチアウト<br>・最後の年越しそば<br>・一冊のノート | D-22 よりよく生きる喜び<br>B-6 思いやり、感謝<br>C-14 家族愛、家庭生活の充実 | 3 | ・自分の過失を隠したことについて、良心の呵責を感じ続ける「僕」の思いについて考えることを通して、人間のもつ気高く生きようとする心に気付き、自らの弱さや醜さを克服して、よりよく生きようとする道徳的心情を育む。<br>・最後の帰宅をやめて、お年寄りに年越しそばを振る舞う父の生き方について考えることを通して、思いやりの心の大切さに気付き、温かい人間愛の精神をもって、人と人との支え合いを大切にする道徳的心情を育む。<br>・ノートにつづられた祖母の思いを知り、祖母と並んで草取りをする「僕」の心の動きについて考えることを通して、家族を敬愛し、家庭の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築こうとする道徳的態度を養う。 |
| 3学期 | 1 | ・国<br>・本物の将棋指し ― 村山 聖 ―<br>・迷惑とは何ぞ | C-17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度<br>A-4 希望と勇気、克己と強い意志<br>C-12 社会参画、公共の精神 | 3 | ・二つの祖国をもつ王貞治さんの考え方から、人と国との関わりについて考えることを通して、日本に生きる者としての自覚をもって、国家及び社会の形成者としてその発展を願う道徳的心情を育む。<br>・病を抱えながらも、将棋に一生を捧げた村山聖さんの生き方について考えることを通して、夢や目標に向かって生きることの大切さに気付き、困難や失敗を恐れず、自らの夢や目標に向かって努力していこうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・映画の登場人物の思いを共感的に理解し、筆者の主張について考えることを通して、社会連帯の大切さに気付き、社会に暮らす人々と互いに支え合い、ともによりよく生きていこうとする道徳的態度を養う。 |
| | 2 | ・アイツとセントバレンタインデー<br>・足袋の季節<br>・最も悲しむべきことは、病めることでも貧しいことでもなく | B-8 友情、信頼<br>D-22 よりよく生きる喜び<br>C-18 国際理解、国際貢献 | 3 | ・真一と夏樹それぞれの行動について話し合い、二人のよりよい関係について考えることを通して、異性間においても相手と理解し合うことの大切さに気付き、信頼と敬愛の念をもってよりよい人間関係を築いていこうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・取り返しのつかない過ちを悔いる筆者の心情について考えることを通して、人間の弱さや醜さとそれを克服したいと願う心に気付き、自分に恥じない、人間として誇りある生き方を追求する道徳的態度を養う。<br>・誰もが人間らしい生活を送れるように尽力したマザー・テレサの生き方について考えることを通して、世界中の人々と協働し、互いに尊重し合いながら、国際平和と人類の幸福に寄与する道徳的実践意欲を培う。 |
| | 3 | ・地図のある手紙<br>・看取りの医者 | B-6 思いやり、感謝<br>D-19 生命の尊さ | 2 | ・雪深い沼の原の墓地に一郎の手紙を配達し、墓前で代読する源さんの思いを共感的に理解することを通して、思いやりの心の温かさに気付き、人と人とをつなぐ思いやりの心を大切にしようとする道徳的心情を育む。<br>・延命治療を希望しない桑田さんと、彼を支えようとする筆者の思いについて考えることを通して、人間としての尊厳をもって生きることの大切さに気付き、生命の尊さについての理解を基に、自己の生き方を考え続けていこうとする道徳的実践意欲を培う。 |

指導時間　　1学期：13時間、2学期：14時間、3学期：8時間、年間：35時間

| 評価について | ・数値ではなく、記述によって評価する。<br>・他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として行う。<br>・生徒の道徳性そのものではなく、道徳性を養う学習活動に着目して、学びのプロセスを評価する。<br>・学習の一部分だけを見て判断するのではなく、一定期間の授業の中から生徒のよさを見いだして評価する。<br>・多角的・多面的な見方へ発展しているか、自分との関わりで深めているかといった点を重視して評価する。 |
|---|---|

# 令和６年度　　年　間　授　業　計　画

東京都立富士高等学校附属中学校

| 教科名 | 特別の教科　道徳 | 対象学年 | ３年 | 週時間 | １時間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「中学生の道徳 自分をのばす３」（あかつき教育図書）<br>「中学生の道徳ノート　自分をのばす３」（あかつき教育図書） | 教科担当 | 藤高 悦子、伊藤 邦朗<br>向後　　和、半谷 亮介 | | |
| 副教材 | 「キラリノート」（正進社） | | | | |

## 授　業　計　画

**授業の目標**

○道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え生き方についての考えを深める。
○道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
○自らの役割と責任を自覚し、協力して集団生活の向上に努めるとともに、社会の一員として自己の人生を切り拓き社会に貢献する態度を育てる。
○学級や学校を愛し、自分の役割を果たして、よりよい学校生活の実現に対する意欲を高める。

**主な学習内容と授業時数**

| 学期 | 月 | 単　元 | 学　習　内　容 | 配当時間 | 具体的な指導目標 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 4 | ・リクエスト<br>・スダチの苗木<br>・山寺のびわの実 | A1 自主、自律、自由と責任<br>C14 家族愛、家庭生活の充実<br>B9 相互理解、寛容 | 3 | ・自分たちの軽はずみな行為を悔やむ伊藤君たちの心情を共感的に理解することを通して、自律的な判断と責任の大切さに気付き、自主的によく考えて判断し、行動の結果に責任をもつ道徳的態度を養う。<br>・両親の苦労を知って心を震わせる筆者の心情を共感的に理解することを通して、自分を育んでくれている家族の愛情の深さに気付き、家族を敬愛して、家族の一員としてよりよい家庭生活を築こうとする道徳的態度を養う。<br>・さえと竹庵の話を聞いて、深々と頭を下げる甚太の心の変化について考えることを通して、寛容で謙虚な心のよさや大切さに気付き、相手の個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方を受け入れていく道徳的態度を養う。 |
| | 5 | ・独りを慎む<br>・誰かのために<br>・優しいうそ<br>・監督がくれたメダル | A2　節度、節制<br>D19 生命の尊さ<br>A4 希望と勇気、克己と強い意志<br>C15 よりよい学校生活、集団生活の充実 | 4 | ・一人暮らしを始めた筆者がぶつかった「どきんとすること」を手がかりに、「独りを慎む」ことの意義を考えることを通して、節制に心掛けて、心身の健康や安全で調和のある生活を築いていこうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・残りわずかな時間を子供たちのために必死に生きようとする母の姿から、「誰かのために生きる」ことについて考えることを通して、生命の尊さを有限性や関係性など多面的・多角的に理解し、かけがえのない生命を尊重する道徳的心情を育む。<br>・交通事故による苦難を乗り越え、「語り部女優」として復帰を決心した筆者の生き方について考えることを通して、勇気と希望をもって生きることの大切さに気付き、より高い目標に向かって、困難や失敗を乗り越えていこうとする道徳的実践意欲を培う。 |
| | 6 | ・卒業文集最後の二行<br>・原稿用紙<br>・襟裳のこと<br>・ぶれない心 ― 松井秀喜 ― | C11 公正、公平、社会正義<br>B6 思いやり、感謝<br>D20　自然愛護<br>A3 向上心、個性の伸長 | 4 | ・T子さんへのいじめを悔いる筆者の心情について考えることを通して、愚かないじめを引き起こす人間の弱さや醜さに気付き、差別や偏見、いじめや不正な言動を断固として許さない道徳的態度を養う。<br>・お世話になっていた難波商店の専務から電話を受け、話を聞いた筆者の心情について考えることを通して、互いに支え合う関係性のよさに気付き、思いやりの心と感謝の念による人と人とのつながりを大切にする道徳的心情を育む。<br>・襟裳の人々による自然再生の取り組みを知った「私」の思いについて考えることを通して、自然の崇高さや自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努める道徳的実践意欲を培う。<br>・自分で考え、工夫しながら努力を積み重ねてきた松井秀喜さんの生き方について考えることを通して、自己を見つめ、自己の向上を図っていこうとする道徳的実践意欲を培う。 |
| | 7 | ・ひまわり<br>・ピヨ子 | D22 よりよく生きる喜び<br>A1 自主、自律、自由と責任 | 2 | ・美しい景色を目にしたことをきっかけに、絶望を乗り越え、誇りをもって生きようとする筆者の生き方の変化について考えることを通して、自らの弱さや醜さと戦い、自己を奮い立たせて、生きる希望や喜びを見出す道徳的心情を育む。<br>・加奈子が美沙に送った画像が拡散したことで起きた問題について考えることを通して、自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもつ道徳的態度を養う。 |
| 2学期 | 8 | | | | |
| | 9 | ・席を譲られて<br>・てんぴんばかり<br>・アイツの進路選択<br>・月明かりで見送った夜汽車 | B7 礼儀<br>C13　勤労<br>B8 友情、信頼<br>B6　思いやり、感謝 | 3 | ・高橋健二氏の礼儀の美しさと、それを目撃した筆者の礼儀について考えることを通して、相手の人格を認め、尊敬や感謝の念を伝える礼儀のよさや大切さに気付き、時と場に応じて適切な言動をとろうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・「比べられないものがある」という父の言葉を聞いて筆者が気付いたことについて考えることを通して、勤労の尊さや意義を理解し、勤労を通じて社会に貢献しようとする道徳的実践意欲を培う。<br>・進路選択をめぐる真一と夏樹の思いを共感的に理解し、よりよい関係を築いていくことについて考えることを通して、異性間においても信頼と敬愛の念に基づき、互いを向上させていける人間関係を築いていく道徳的態度を養う。<br>・Ｉ先生の気持ちを察して電気を消すＹ先生と、それに対して声をあげ拍手を送る先生たちの思いについて考えることを通して、相手の重荷にならない思いやりのよさや大切さに気付き、深い理解と共感に基づく思いやりの心を大切にする道徳的心情を育む。 |
| | 10 | ・母と子のロードレース<br>・ドナー<br>・元さんと二通の手紙<br>・虹の国 ― ネルソン・マンデラ ― | C14 家族愛、家庭生活の充実<br>D19 命の尊さ<br>C10 遵法精神、公徳心<br>C11 公正、公平、社会正義 | 4 | ・アスリートとしてのリスクを省みず、母への生体肝移植を行いながらも、ロードレースに挑戦し続けた宮澤崇史さんの思いについて考えることを通して、家族からの支えや無私の愛情に気付き、家族の一員としての自覚をもって、互いに支え合う家庭生活を築いていく道徳的実践意欲を培う。<br>・二つの投書の意見の根底にある命に対する感じ方や考え方を探り、生命倫理の問題について考えることを通して、生命の尊さを多面的・多角的に理解し、自他の生命の尊厳を守る道徳的態度を養う。<br>・二通の手紙を受け取った元さんが「この年になって初めて考えさせられること」について考えることを通して、法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守り、規律ある安定した社会の実現に努める道徳的態度を養う。<br>・ネルソン・マンデラが目指した社会の在り方について考えることを通して、無知から生まれる偏見や不寛容な心など人間の弱さや醜さに気付き、正義と公正さを重んじ、差別や偏見のない社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。 |
| | 11 | ・風に立つライオン<br>・二人の弟子<br>・ほっちゃれ<br>・カントとルソー | A4 希望と勇気、克己と強い意志<br>D22 よりよく生きる喜び<br>D21 感動、畏敬の念<br>A1 自主、自律、自由と責任 | 3 | ・「風に向かって立つライオンでありたい」と願う「僕」の生き方について考えることを通して、人生の理想を追い求めることの大切さや素晴らしさに気付き、強い意志と希望をもって人生を切り拓いていく道徳的実践意欲を培う。<br>・純白の白百合を見て涙を流す智行の思いについて考えることを通して、自己の弱さや醜さを乗り越えようとする人間の強さや気高さに気付き、人間としてよりよく生きる喜びを見出していこうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・ほっちゃれのすさまじい生涯や、ほっちゃれを手に取ってやる男性に対する筆者の思いを共感的に理解することを通して、大いなる自然の神秘や生命の営みに感動や畏敬の念をもつ道徳的心情を育む。<br>・カントがルソーの『エミール』から学んだことについて考えることを通して、人間が本来的にもつ良心の尊さに気付き、自律の精神を重んじる道徳的心情を育む。 |
| | 12 | ・ある元旦のこと<br>・海と空 ― 樫野の人々 ―<br>・ベビーカー論争 | B6 ある元旦のこと<br>C18 国際理解、国際貢献<br>C10 遵法精神、公徳心 | 3 | ・挨拶板に深々と頭を下げる少年を目撃した筆者の感動を共感的に理解することを通して、人と人との心の通い合いのよさに気付き、人は互いに支え合って生きていることを自覚し、思いやりと感謝の心をもって他者に接していこうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・エルトゥールル号の話を知った「私」の思いについて考えることを通して、国際的な相互扶助のよさや大切さに気付き、世界の平和と人類の発展のため、他国の人々と支え合い、助け合おうとする道徳的実践意欲を培う。<br>・ベビーカー論争の解決について考えることを通して、社会生活における公徳心の大切さに気付き、遵法精神とそれを支える公徳心を大切にして、規律ある安定した社会の実現に努める道徳的態度を養う。 |
| 3学期 | 1 | ・運命の木 ― 姫路城の大柱 ―<br>・高砂丸とポトマック川のこと<br>・千年先のふるさとへ | C17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度<br>D19 生命の尊さ<br>C16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度<br>C12 社会参画、公共の精神 | 4 | ・姫路城の大柱に込められた人々の思いを共感的に理解することを通して、先人の残した伝統文化の大切さに気付き、我が国の優れた文化の継承と文化の創造に貢献しようとする道徳的実践意欲を培う。<br>・他者の命を救おうとして亡くなったアーランドとクヌッセンの行為を伝えようとする人々の思いについて考えることを通して、生命の尊さを理解し、自他のかけがえのない生命を尊重する道徳的態度を養う。<br>・「いのちの石碑」に込められた女川中学校の生徒たちの郷土に対する思いについて考えることを通して、郷土を愛し、主体的にその発展に努めようとする道徳的実践意欲を培う。 |
| | 2 | ・招集通知 ― あなたが裁判員になるとき ―<br>・ショーペンハウアーとニーチェ | C12 社会参画、公共の精神<br>A5 真理の探究、創造 | 3 | ・みんなの話を聞いた恵美が気付いたことについて考えることを通して、主体的に社会と関わることの大切さに気付き、社会参画の意識と社会連帯の自覚を深め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。<br>・ショーペンハウアーとニーチェのエピソードを手がかりに、「自分で考えること」の大切さについて考えることを通して、主体的に真理や真実を求め続けていこうとする道徳的態度を養う。 |
| | 3 | ・二度とない人生だから | D22 よりよく生きる喜び | 2 | ・「二度とない人生だから」の詩に込められた思いを受け止め、自己の生き方を見つめる学習を通して、自己の良心に従い、気高く生きることによって、よりよい人生を切り拓いていく道徳的実践意欲を培う。 |

指導時間　　1学期：13時間、2学期：13時間、3学期：9時間、年間：35時間

| 評価について | ・数値ではなく、記述によって評価する。<br>・他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として行う。<br>・生徒の道徳性そのものではなく、道徳性を養う学習活動に着目して、学びのプロセスを評価する。<br>・学習の一部分だけを見て判断するのではなく、一定期間の授業の中から生徒のよさを見いだして評価する。<br>・多角的・多面的な見方へ発展しているか、自分との関わりで深めているかといった点を重視して評価する。 |
|---|---|